

LNBF(SPL-2410)取り扱い説明書

この LNBF は偏波電圧切り替え型 C バンド LNB とフィードホンが一体となっています。

偏波切り替え

偏波角の切り替えは、13V(14V)/18V の電圧切り替え方式です。13V(14V)で垂直偏波 V、18V で水平偏波 H になります。付属の誘電体板は円偏波を受信すると、ホーンの溝に装填して使います。誘電体板を入れたときは、13V(14V)で右旋回偏波 R に、18V で左旋回偏波 L になります。

F/D の調整

フィードホン部を、使用するアンテナの F/D に合わせて調整してください。Fig1 のようにスケーラーリングの後端を F/D 値に合わせて六角ボルトで固定します。

取り付け角度

LNBF の取り付け角度は Fig2 を参照ください。

LNBF から反射鏡に向かってみて Fig2 の角度に取り付けてください。この状態が偏波角(SKEW)ゼロの状態です。

ただし目的の衛星が東西に偏っている場合は、見かけの偏波角がずれるので、左右に回して見かけの偏波角と LNBF の偏波軸とを合わせる必要があります。

ASIASAT2/3S, THAICOM など、西に偏った衛星は、反時計方向に 45 度ほど回します。(Fig3)逆に PANAMSAT2/8 のように東に偏った衛星は、時計方向に 30 度ほど回します。(Fig4)ポラーマウント式アンテナの場合はこの必要はありません。

受信状態を見て、最も良いところに微調整してください。この角度は衛星によってまちまちです。

同軸ケーブルの接続は、スパナを使用しないで、手で締めてください。接続後は自己融着テープで防水処理をしてください。

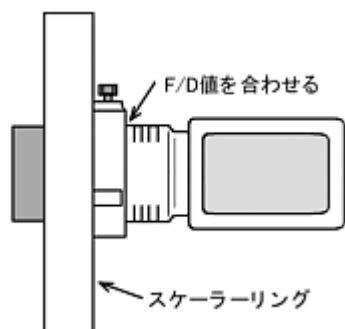


Fig1

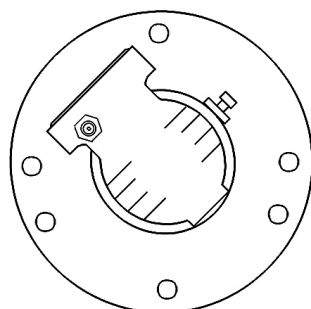
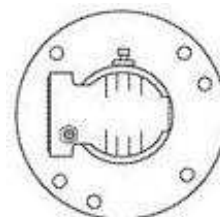
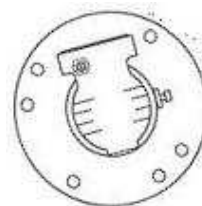


Fig2



ASIASAT2/3S

Fig3



PAS8

Fig4

SPECIFICATIONS

INPUT		PHASE NOISE	
INPUT FREQUENCY	3.4-4.2 GHz.		-80dBc/Hz @10KHz
NOISE TEMPERATURE (@ 25)	15 degree K min 35 degree K max		-95dBc/Hz @100KHz -110dBc/Hz@1MHz
OUTPUT		POLARITY SWITCHING	
OUTPUT FREQUENCY	950-1750 MHz	VERTICAL (13.5V DC typ.)	10.0 to 14.5V DC
CONVERSION GAIN	65dB typ.	HORIZONTAL (18.0V DC typ.)	15.5 to 24.0V DC
LOCAL OSCILLATOR		DC POWER	
FREQUENCY	5.15 GHz	POWER SUPPLY	+12 to +24V DC
STABILITY (@ 25)	± 1.0 MHz	REQUIRED CURRENT	150 mA max.
STABILITY (@-30 to +60)	± 2.0 MHz		

sales-k@kontec.com
<http://www.kontec.com>
<http://www.kontec.tv>

輸入発売元 **コンテック**

430-0925 浜松市中区寺島町 324

TEL 053-458-7068